

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-06-01

APM news 105

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2014年6月号 vol.161

宮内・摂田屋百景 吉乃川 常倉

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 144

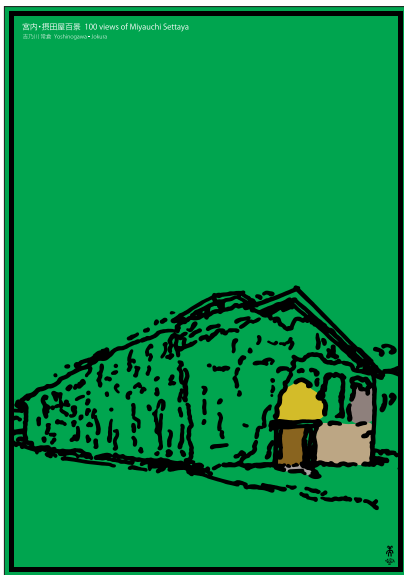
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上船小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「Chinese Posters」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



吉乃川「常倉」は、1923(大正12)年に建築されたもので、フレンチトラストの構造を持つ鉄筋造だ。1階の柱を減らすため2階床組は吊るされている。そのため製品倉庫としての機能を満たしている。さらに中越地震で被災したが、耐震補強して働いている。ぼくは、小学生の時から通学路にある「常倉」を眺めながら学校に通った。春になると壁一面にツタが絡みそのミドリ色の輝く美しさを理解した。夏から秋にかけてツタのグリーンの微妙な変化に気づいた。また、絵画ではけって現すことのできない美的世界がそこにあった。冬にかけて枯れ葉になるプロセスから、植物のはかなさも知った。心に訴える「吉乃川常倉」佇まいだ。



[Title] ----- 宮内・摂田屋百景 吉乃川 常倉
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2014
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] --- 文化
[Idea] ----- 春になると壁一面にツタが絡みそのミドリ色の輝く美しさを理解した。絵画ではけって現すことのできない美的世界がそこにあった。



「宮内・摂田屋百景展」

4月19日(土)～6月30日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN

(上) 宮内・摂田屋百景展/あいさつ・豊口協 APM運営委員会会長
(下) 宮内・摂田屋百景展/観覧会風景